

● はじめに

本県では、複式学級を有する学校が全県下に多数分布しており、増加の傾向にあります。小学校においては、現在4校に1校の割合を占めるまでに至っています。本県教育の充実のためには、複式教育の充実が欠かせないと言ってもよいでしょう。

長崎県教育センターでは、昭和47年の開所以来、30余年にわたり複式教育に関する研修講座を実施しています。また、ここ数年は、しま地区を中心に現地講座を開設するなど、複式教育への理解を深めるとともに、先生方への支援に努めています。

この手引き書は、これらの取組を全県的に広げるとともに、複式学級を担任する先生方へのさらなる支援を目指して作成しました。

本書は、前半が、複式指導の基礎基本を理解していただくための「理論編」、そして、後半が、理論を具現化させた「実践編」の2部構成になっています。ここに一貫して流れている考えは、「プラス発想」です。複式学級だからこそその“よさ”を「教育的価値」としてとらえ、子どもの学びを支える複式授業の充実を目指して作成しました。特に初めて複式学級を担任される先生方の入門書として手にとっていただくことを願っています。

本手引き書を積極的に活用いただき、子どもたちの姿やそれを取り巻く環境のすべてをプラス発想でとらえ、子どもたちが生き生きと活動する教育活動が展開されていくことを期待してやみません。

最後に、本手引き書の作成にかかわり御協力くださった研究協力校、研究協力員の諸先生方に対し、心から感謝の意を表します。

平成19年3月

長崎県教育センター
所長 下田 耕一